



羽合小学校 学校通信

平成26年9月9日 NO, 70

先を見通す力

「ボールが道に転がってくると、その後ろには必ず子供の姿がある」車を運転する者にとって、このことは当たり前とも言える事です。ボールはひとりでに転がるものではなく、ボールを追いかけて子供が道に飛び出してくる危険性があります。わたしたちはその危険性を予見し、ブレーキに足をかけるのです。

こどもたちはどうでしょうか。遊びに夢中になってボールを追いかけます。道に転がれば道までボールを追いかけてしまいます。必ずしもその先の危険を見通せるわけではありません。ですから、ここがわたしたち大人の出番なのだと思います。ではその時、わたしたちは何を伝えたらよいのでしょうか。

ひとつには、ボールを追って道に飛び出さないということをこどもたちに伝えることです。

ふたつには、そこでボール遊びをすることが危険であるということをこどもたちに伝えることも必要です。

ひとつめは、ボールを追うという行動に対して、それを追って道に飛び出してはいけないという対応を教えますが、ふたつめは、そこでボール遊びをすると事故に遭う危険性があるということを教えて、ここでボール遊びをすることの可否を考えさせ、行動を決定させます。

わたしたちがこどもたちにつけてやりたい力を育てるのはどちらでしょうか。

どちらかと言えばふたつめの方なのではないでしょうか。わたしたちが、こどもたちにつけてやりたい力は先を見通して自分の行動を決定する力です。

この力は、例に挙げたような危険回避に役立つだけでなく、勉強やスポーツなどありとあらゆるところで役立つ力です。先を見通して考え行動することを促し、見通す力をつけてやりたいものです。

スポ少の開始を待っているこどもたちを見ると、来賓駐車場のあたりでボールを蹴っているのを見かけます。ボールが道に転がっていくこともあります。校舎に向かってボールを投げているのも見かけます。ボールが田んぼの中に入ってしまうこともあります。人がたくさんいるところ、人が走り回っているところでバットを振っているこどももいます。

わたしたちの羽合小学校のこどもたちにかかわる学校の教職員も保護者もスポ少の指導者も、みんな含めてこどもたちに働きかけていかなければなりません。わたしたちの先を見通す力も試されています。

【がんじょ】

69号で使いました「がんじょかわいげ」の「がんじょ」についてご質問がありました。「がんじょ」とは「一生懸命」とか「よく働く」というような意味で使われる鳥取の方言です。がんじょかわいげとは、「一生懸命な者はみんなに愛される」といったような意味になります。では、「ぎゃーけがついてせんきがさむい」はどんな意味でしょうか。

羽合小学校 寺谷英則